

 	佐渡市立相川中学校 生徒数 1年27名 2年33名 3年23名 計83名 令和4年12月23日発行
	第8号 TEL 74-2157 mail aikawa-js@sado.ed.jp

絶対的存在感

校長 佐藤 元

「3年生は後輩との格の違いを見せて欲しい。3年生は前向きな空気を作る存在。そう、常に絶対的存在感を見せつけて欲しい。」
 毎春、3年生に話している言葉です。

※「絶対的存在感」という言葉は存在しない気もしますが・・・。

12月6日(火) 6限 体育館 佐渡市地域振興局地域整備部の方々を講師としてお迎えして開いた第2回マイタイムライン教室。
 授業開始。その号令を応援団長の濱辺力也さんが掛けてくれました。

「起立。これから6時間目の授業を始めます。お願いします。」

この声のとてつもなく大きく、しかも迫力がありませんでした。それに応じて、3年生を中心とした全校生徒がこれまた大きな声を出して「お願いします。」と続けました。一瞬、会場内がどよめきました。大きな声で号令を掛けてくれた応援団長をあざ笑うざわめきではなく、その逆で、「うおー、すげえ」という驚きと賞賛のざわめきでした。応援団長と3年生のおかげで、瞬く間に空気が変わり、全体が休み時間から授業モードに切り替わり、終了まで一人一人が集中して授業を受けることができました。

さすがです。

もちろん、今回のことだけでなく、3年生は集会時は必ずと言っていいほど一番先に体育館に来て整列したり、清掃や、専門委員会等でも、リーダーシップをとって学校全体をうまくまとめてくれたりしています。そう、絶対的存在感で。

本当に頼もしい存在になりましたね。春先は、シャイで、優しすぎて、どこか頼りなかった3年生が、いつの間に・・・。

いつの間にと言ったら失礼ですね。特にこの1年、数多くの修羅場をくぐり抜け、さまざまな経験を積み、時には、歯を食いしばって踏ん張ってきたからこそ、自然とにじみ出てくる存在感なのだと思います。

先日、令和5年度の生徒会役員選挙が行われ、新役員が認証されました。2年生が学校をリードする時期が迫ってきました。しかし、3年生は、卒業の日まで、絶対的存在感を示し続けて欲しいと願っています。

生徒会役員決定

来年度の生徒会役員を決める選挙活動が行われました。12月7日(水)に行われた、立会演説会では、立候補者・責任者ともに、堂々と自分の考えを発表していました。また、その他の全校生徒も真剣に演説を聞くなど、立派な態度で参加していました。翌日に行われた投票の結果、立候補した4名は信任されました。



←選挙活動期間中は、立候補者・責任者が一緒になって生徒玄関前であいさつをしていました。



投票の様子 → 無効票がゼロでした。



←立会演説会の様子。責任者は立候補者のよいところを簡潔にアピールしていました。立候補者は来年度の相川中をよい学校にするために、取り組みたいことなどを具体的に演説しました。

生徒会長 TR (2年)

僕は「1人1人が自分で考えて行動できる学校」をつくりたいです。そう思う理由は、1人1人の考える力が高まれば、正しい判断が増えるようになり、全校生徒1人1人にとってより充実した楽しい生活を送れるようになると思うからです。「1人1人が自分で考えて行動できる学校」にするために、全校朝会の在り方を工夫したり、全校集会を新たに行ったりして「正しい行動とは何か？」など、考える機会をつくりたいと思います。他にも、球技大会や体育祭・文化祭など大きな行事に合わせて「自分で考える機会」をつくっていききたいと思います。

応援団長 IY (2年)

僕が応援団長に立候補した理由は2つあります。1つ目は、代々応援団長をされた先輩に憧れたからです。全校生徒の前で堂々と指示を出したり、応援したりする応援団長に僕もなりたいたと思いました。2つ目は経験を生かして、相川中学校の応援をさらに盛り上げていきたいと思ったからです。これまで応援団や体育祭の応援団幹部に入って応援活動をしてきました。僕は人を応援する人、人から応援される人になりたいと思っています。1、2年生の時に先輩方から学んできた経験を生かして、全力で応援ができる学校にしたいと思っています。

生徒会副会長 ST (2年)

僕が副生徒会長に立候補した理由は、自分で考えて行動し、挑戦できる学校をつくりたいからです。自分で考えて行動することで、自分自身のレベルを上げることができます。また、自分で考えた上で挑戦する人が増えれば、相川中学校全体のレベルアップができると思います。僕は陸上部での活動で、自分で考えて準備をし、ベストパフォーマンスを発揮することができました。そのような「自分で考える」機会を他の場面でもつくりたいと考えています。日常生活の中で、自分自身の行動を振り返り、その改善点を自分で考えて実行に移す取組をしたいと思いません。

生徒会副会長 SA (2年)

私が目指している相川中は、「日常生活の行動1つ1つに丁寧に取り組める学校」です。挨拶・掃除・整理整頓・授業態度など、細かいことにも責任をもって取り組む学校にしたいと思っています。そのような学校にするために日々の行動に対する意識を高めるのが大事だと思います。そのために「身の回りのチェックの徹底」や「授業態度の振り返り期間」などをつくりたいと考えています。このような取組を行い、「日常生活の行動1つ1つに丁寧に取り組める学校」に近づけるために、まずは自分の生活を振り返り、全校生徒の手本となるよう行動します。

1年生 職業講話 (11月25日)

1年生は、総合的な学習の時間に「職業」について学習しています。今年度は、佐渡で働いている人や佐渡を支えている人に焦点を当て、その方々に講演をお願いしました。生徒たちはIT企業や現役の自衛官等さまざまな職業の方々からお話を聞くことにより、今後の進路学習や来年実施する職場体験への意欲を高めていました。なお、職業講話で講演された事業所は下記の通りです。本当にありがとうございました。

- ・株式会社共立テクノ 様 ・taneCREATIVE株式会社 様
- ・防衛省 自衛隊新潟地方協力本部 佐渡駐在員事務所 様
- ・新潟交通佐渡株式会社 様



新潟県マイ・タイムライン教室 (11月30日、12月6日)

今年度初めて、新潟県佐渡地域振興局の方々にお越しいただき、マイ・タイムライン教室を開催しました。マイ・タイムラインとは、水害や土砂災害に備えて、避難する時にやるべきことを時間ごとに整理した避難行動計画のことです。2回の学習を通し、ハザードマップの見方や避難時にとるべき行動等について学習しました。また、グループで話し合う場面もあり、防災への意識をさらに高めていました。



栄光の記録

○第37回BSN杯新潟県U14バスケットボール大会下越地区予選会 (11月26、27日)
相川中学校・佐渡中等教育学校女子バケットボール部 第3位 (1月の県大会に出場)

第4回 家庭学習時間・メディア時間調査

12月5日(月)～11日(日)までの1週間、家庭学習時間とメディア時間の調査を行いました。結果は下表の通りです。()は、7月に実施したテスト前以外の調査結果です。

	1年生	2年生	3年生
平均家庭学習時間	52分 (58分)	15分 (30分)	63分 (65分)
平均メディア接触時間	167分 (158分)	157分 (140分)	170分 (157分)

期末テストが終わり、平均メディア接触時間が多くなりました。冬休み中は、自由な時間が多くなります。時間は有効に活用しましょう。また、普段なかなかできない読書やお手伝い、趣味等にも使えるといいですね。

連絡

○冬休み中も、新型コロナウイルスの感染が心配されます。お子さんが感染した場合や濃厚接触者になった場合は、休み中でも学校まで連絡をお願いします。

1月の主な予定

- 10日(火) 3学期始業式(給食あり) Attack 25 (理科)
- 13日(金) オープンスクール 2年職場体験発表会
- 16日(月) 3年実力テスト
- 17日(火) 1・3年食育指導 専門委員会
- 23日(月) 生徒朝会(認証式)
- 24日(火) 1・2年教育相談開始
- 25日(水) 2年救急法講習会
- 26日(木) 議案書審議
- 30日(月) 全国標準学力検査(NRT)① 3年保護者会①
- 31日(火) 全国標準学力検査(NRT)② 3年保護者会②